

穂 学

令和2年度

広州日本人学校 学校便り

[No. 17]

令和2年12月2日(水)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「人権週間を迎えるにあたり」

1948年、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、国際連合において「世界人権宣言」が採択されました。採択された12月10日を世界人権デーとして、12月4日から一週間を「人権週間」として、日本のみならず全世界で人権について考える取り組みが行われます。

本校でも、毎年、この人権週間に合わせて人権集会や「思いやりの木」を育てる取り組みを行っています。

12月1日の人権集会では、茶屋真実子先生が絵本「わたしのいもうと」(松谷みよ子 文・味戸ケイコ 絵)の読み聞かせをしました。内容は、転校した小学校で、いじめをきっかけに学校へ行けなくなり、最後は亡くなってしまう女の子のお話です。この絵本の中で、女の子は最後にこう綴っています。「わたしをいじめたひとたちは、もうわたしのことをわすれてしまったでしょうね」と。

どんなに些細なことでも、受けた本人が「いやだ」「やめて」と思うようなことはいじめと同じです。何気なく言った言葉、遊びのつもりでやったことが友達を傷つけてしまうことがあります。そんなときは、「ごめんなさい」と素直に謝ることが大切です。そして、「いいよ」と相手を許してあげることができたら、きっと仲直りすることができ、互いが人に優しくなれますね。



<真剣に話を聞く児童生徒>

集会の最後に、私の経験をお話ししました。絵本の内容と同じように、小学校に転校してきた女の子がいじめにあっていたことです。私は助けることができなかったことや、もしかしたら自分もその子が嫌がることを言ったかもしれないこと、そして今でもその子のことが気になって仕方ないことなどをお話ししました。反省と後悔の気持ちは今でも消えません。

優しい気持ち、思いやりの気持ちをもって友だちと接し、友だちを大切にしていきたいと思います。「思いやりの木」に、児童生徒一人一人の思いやりの花が咲くのを楽しみにしています。保護者の皆様も、ぜひ個人面談の際に目にとめていただけると幸いです。

「新しい教員が着任しました」



10月26日(木)から学校採用教員の三名が着任しました。コロナの影響で遅れましたが、三名ともやる気満々です。どうぞ宜しくお願いします。

(写真左から)

- 金谷真綾先生：東京都、中学社会、小4社会
- 竹部涼平先生：富山県、小1担任
- 友利阿佐美先生：沖縄県、小4担任